

平成29年度 在宅医療・介護連携推進事業 活動報告

平成30年3月20日

いちき串木野市医師会

在宅医療・介護連携推進事業

コーディネーター 南新 敦子

在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目の一部を郡市区医師会等（地域の中核的医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

○事業項目と取組例

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

（キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

（カ）医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

イ) 医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

平成29年度在宅医療・介護連携推進委員連絡協議会
H29年7月6日開催

【協議内容】

- 1) 事務局より今年度の活動計画についての説明
- 2) 「いちき串木野市介護保険の現状について」
いちき串木野市健康増進課 若松 友子課長
- 3) 「在宅医療・介護連携推進事業について」
鹿児島地域振興局保健福祉環境部
健康企画課 課長 永山 広子氏



平成29年度 第1回推進チーム連絡会

【今年度の活動について】

平成29年5月25日開催



【チームCKH】

調査広報を担当

研修企画の参考調査として医療・介護関係機関職員に向けたアンケートを実施し、集計結果を他2チームへ連携する作業を実施しました。一方では地域資源マップ作成に取り組み、医療、介護関係機関で必要な情報についてのアンケートを実施し、作成に向けて作業を進めています。



【おうちに帰ろう班】

在宅医療体制構築を担当

訪問診療を行う医師を増やすための取組みについての企画や、地域住民への在宅医療についての広報や相談についての計画を進めています。医師への負担軽減に繋がる訪問看護との連携やMCSを活用する情報共有についてなど医師や地域に向けた講座、広報窓口開設の実施に向け取組を進めています。



【チームトレプラ】

在宅医療・介護連携について研修企画を担当する

チームCKHの集計データを基に研修会や講演会の企画を進めています。初めに在宅医療介護連携推進事業についての概要など地域医療、介護の関係スタッフに知ってもらい研修会開催を企画し準備を進めています。

第2回推進チーム連絡会開催

平成29年9月27日 脳神経外科センター大会議室

＊新メンバー1名(いちき串木野消防本部警防課救急係長)参加いただき、
多職種**総数35名**参加の会議となりました

- ・3チームでそれぞれにグループワークを中心に現時点での活動について、また取組の進め方についてなど各グループのスケジュールについて具体的な話し合いが繰り広げられました。

チームCKH



お家に帰ろう班



チームトレプラ



医療・介護関係機関への広報や地域住民への広報について協議を行い、今年度中の資源マップ作成に向けて進めて行く為に、具体的な活動についての話し合いが進みました。

訪問診療をどのように増やしていくか。
在宅医療、介護連携推進についての広報をどのように展開していくか。
地域住民への在宅医療・介護相談会実施について等の協議が進みました。

今後に向けての研修会の内容について協議を行い、今年度は医療、介護関係機関従事者を対象に在宅支援に関する事例発表を中心にした内容の研修を2月に予定し準備を進める話し合いが行われました。

第3回推進チーム連絡会開催

H30年3月5日 脳神経外科センター 大会議室

- ・新メンバー3名 ご参加いただき、チーム総数44名となりました。



資源マップ・医療介護用冊子等の作成に向けた作業が進行中です。掲載する内容の検討など具体的な協議がされました



在宅医療についての広報や理解を地域住民や関係機関どのように伝えて行くか等を中心に協議がされました。



次年度に向けた、医療、介護関係者に向けた研修会について具体的な内容の協議がされていました。

イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

①研修会企画に向けて、アンケート調査実施

実施に向けてのミーティング2回(3月21日 4月18日)

アンケート配布 5月12日開始 ～ 5月30日回収

集計作業並びにまとめ作業(1590部配布 1297回収)

地域医療機関・介護関係
機関合わせて94施設に
配布、協力頂きました

ア)地域の医療介護の資源の把握

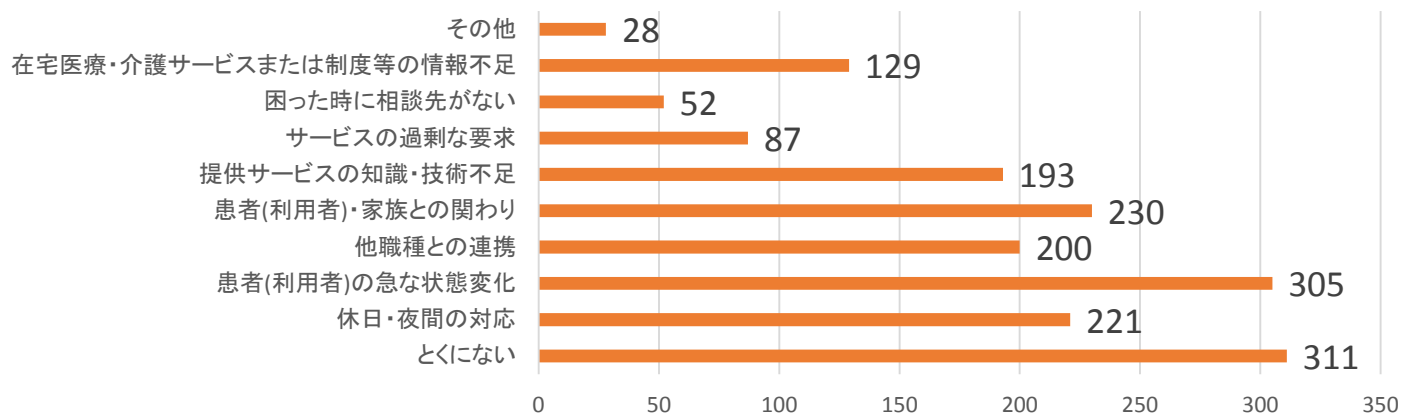
②地域資源マップ作成に向けて医療、介護関係機関で必要な情報についての アンケート調査実施

地域住民向け資源マップ作成に向けての検討会実施

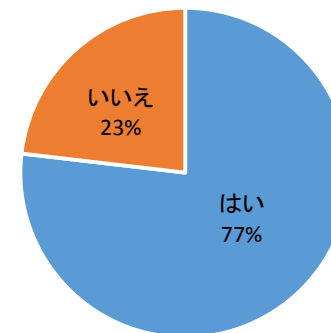
医療・介護関係機関、従事者向け地域資源情報冊子の作成検討会実施

【アンケート集計結果(抜粋)】

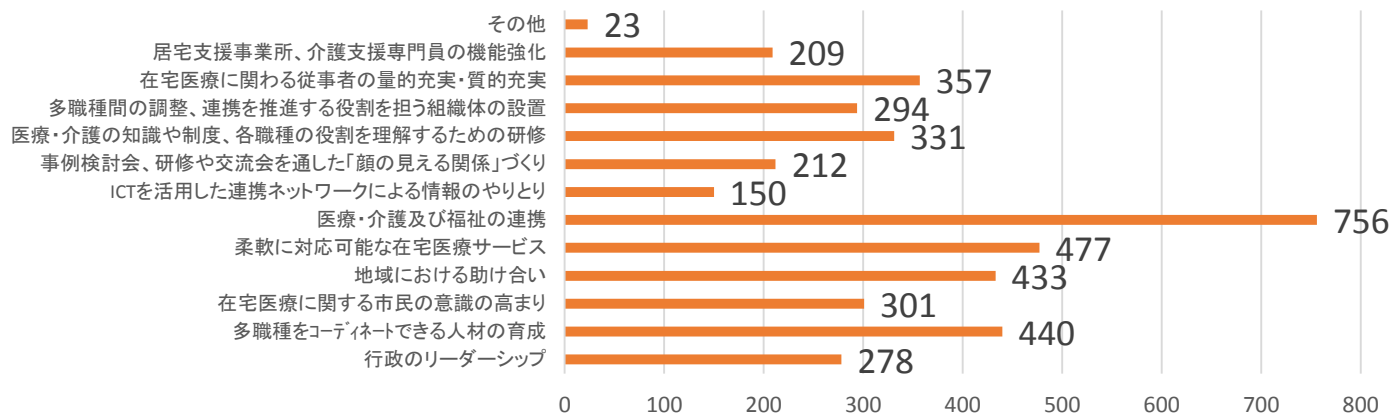
◆サービス提供において困っていること(複数回答)



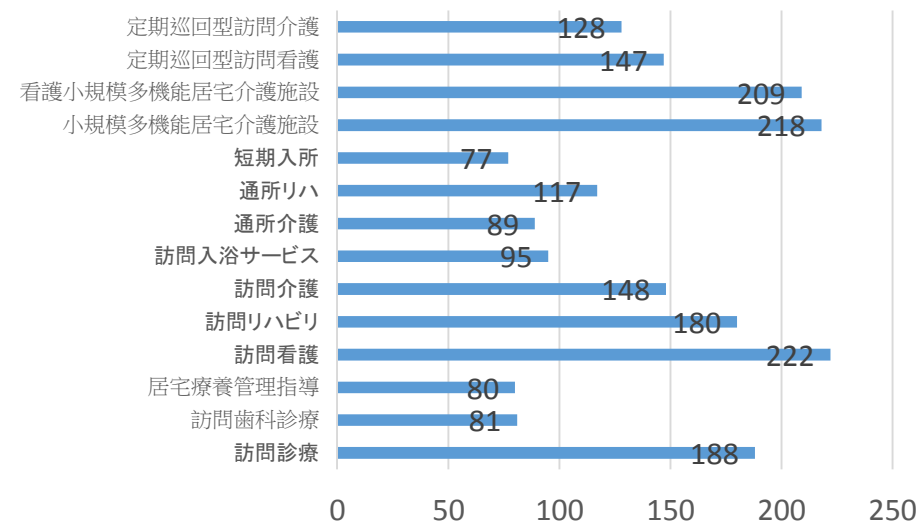
◆在宅医療に関する研修があれば参加しますか？



◆在宅医療介護連携を推進するために何が必要だと思いますか？(複数回答可)



◆在宅サービスで詳しく知りたいと思うサービスはどれですか。



力)医療介護関係者の研修

地域医療・介護関係機関従事者対象研修会企画実施

・第1回研修会:講演会開催 平成29年8月23日

テーマ「住み慣れた地域で暮らしを支えるために

～今改めて医療と介護の連携を考える～

①「住み慣れた地域で暮らしを支える医療と介護連携とは」

鹿児島地域振興局健康企画課 永山広子 課長

②「医療と介護の連携で“その人らしく生きる”を考える」

～訪問看護の「支援事例から見えてきたこと～

訪問看護ステーション”びっぐすまいる”管理者 柳田千草氏

・第2回研修会:医療機関平成30年2月7日 退院支援、医療介護連携をテーマの事例発表 介護機関平成30年2月21日

【事例発表】「もう一度、家族と暮らしたい」

～患者、家族の想いを地域の専門職で支える～

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター

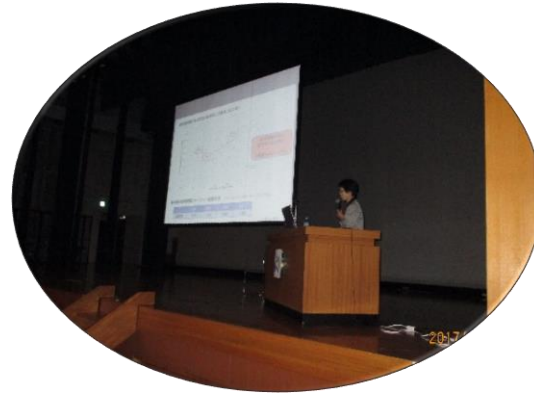
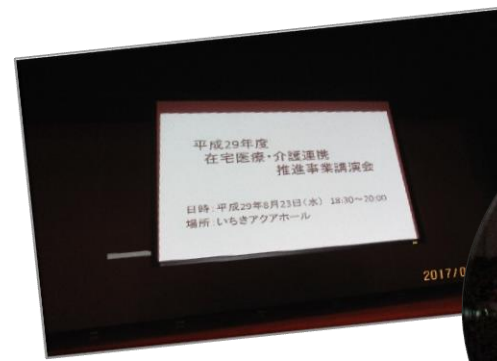
作業療法士 士長 山下孔明

【介護家族の講話】「在宅介護を続けての家族の思い」

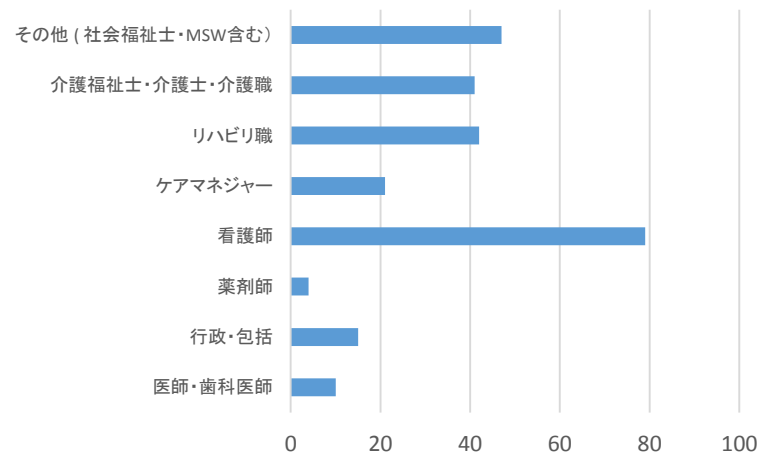
講演会開催状況

平成29年8月23日

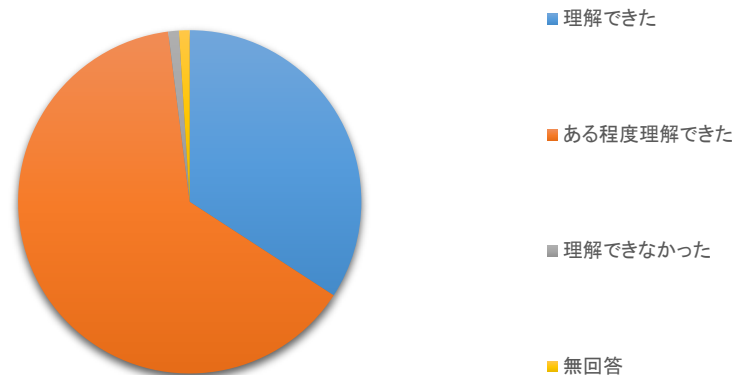
- ・当日参加人数 259名
- ・参加者アンケート回収 199枚



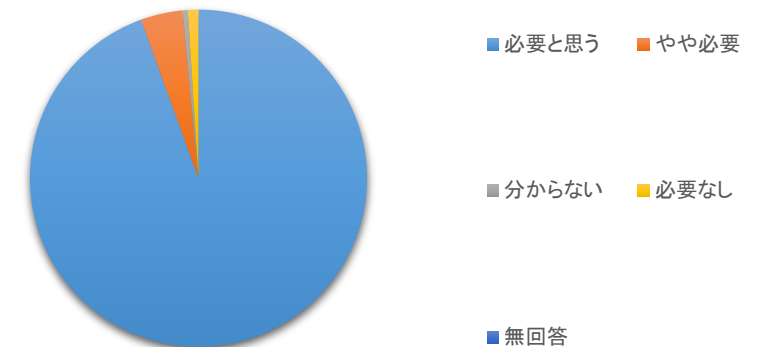
職種別参加人数



理解度



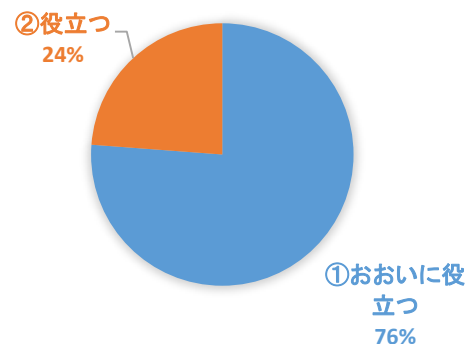
連携の必要性



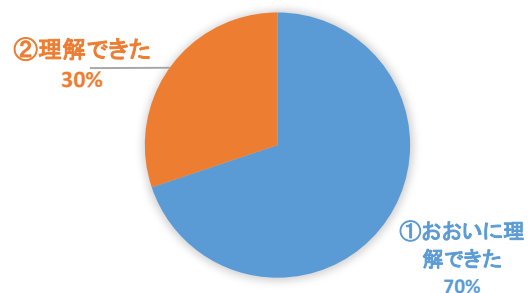
第2回研修会開催状況 平成30年2月開催

医療・介護関係機関参加総数 参加 167 名

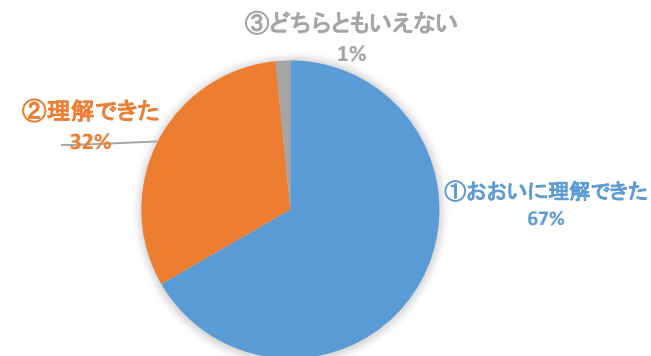
3.この研修は役にたちましたか？



2.-2) 連携の流れ



2.-1) 事例を通して知る



エ)医療介護関係者情報共有の支援

- ・訪問診療を行う医師を増やすための取組み

医師会総会での説明を行う ～家で暮らし続けられるいちき串木野市へ～
(在宅医療推進・診療報酬等について説明)

ウ)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制と構築推進

- ・病院内研修会での出前講座:介護保険、退院支援連携についての講演
- ・MCS活用による医療・介護の連携並びに情報共有について説明講演
- ・MCS登録拡大のための未登録施設への説明会開催

キ)地域住民への普及啓発

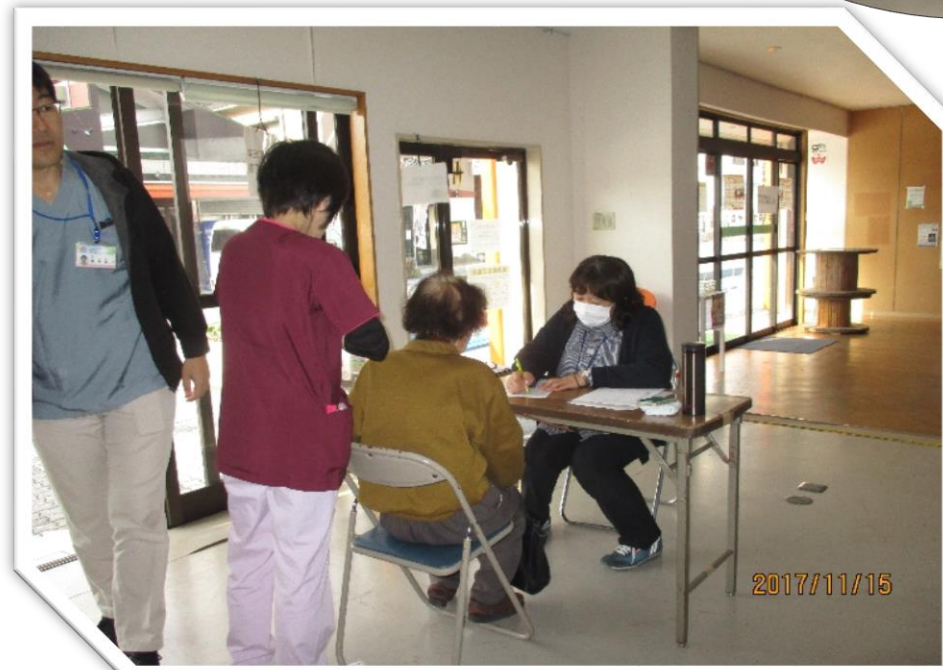
- ・訪問看護・在宅看取りについての出前講座実施
- ・まちなかサロンにて医療・介護の相談会開催

在宅医療・介護の相談会の開催

平成29年11月15日(水) 9:00～12:00

場所: まちなかサロン

- ・【実施目的】
- ・ 在宅医療・介護推進事業広報の一環として地域住民へ在宅医療や介護について知ってもらう。
- ・ 在宅医療や介護について地域住民の相談を受ける。安心した在宅生活支援、情報提供を行う
- ・ 介護保険や、介護サービスについての情報提供を行う



医療・介護ネットワーク整備事業

- 医療介護ネットワーク整備事業・・・H28年10月～H29年3月
県医師会からいちき串木野市医師会委託を受けて
医師会立脳神経外科センターが事務局となり
事業運営を進めてきた。
(訪問看護ステーションさくら利用者のMCSを中心に推進)



- H29年度より在宅医療・介護連携推進事業に加えられる。
10月より全面的に移行し取り組んでいく事となった。
MCS利用拡大に向けての説明会10月18日に開催

＜H30年度現在の運用状況＞

登録施設:42

アカウント取得者数182

登録患者数131



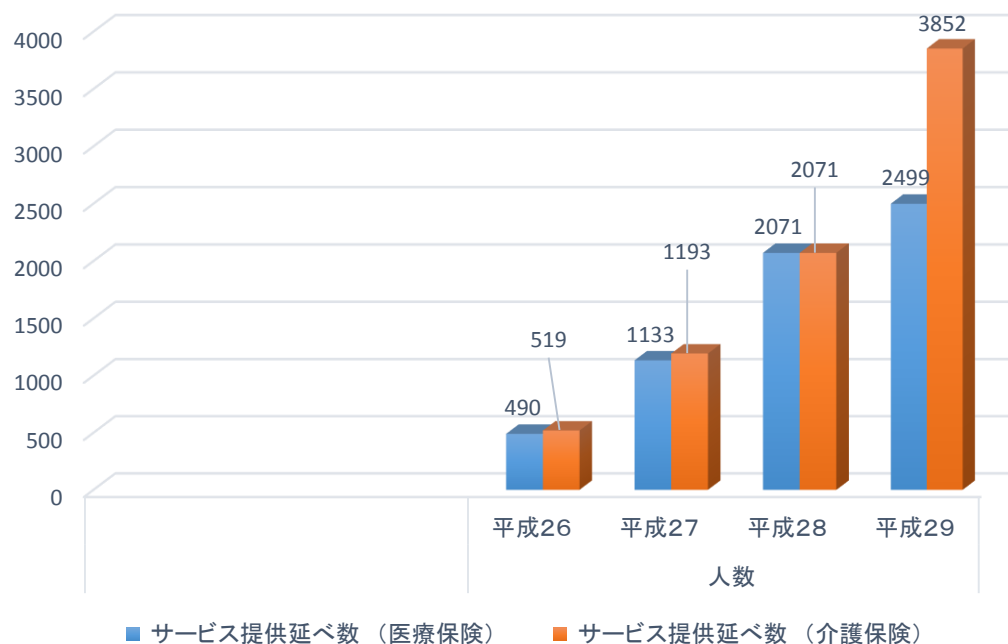
H29年度 いちき串木野市医師会 在宅医療・介護連携推進事業実施（スケジュール表）

[illegible]

<いちき串木野市における訪問看護利用状況>

訪問看護ステーション さくら

訪問看護利用状況



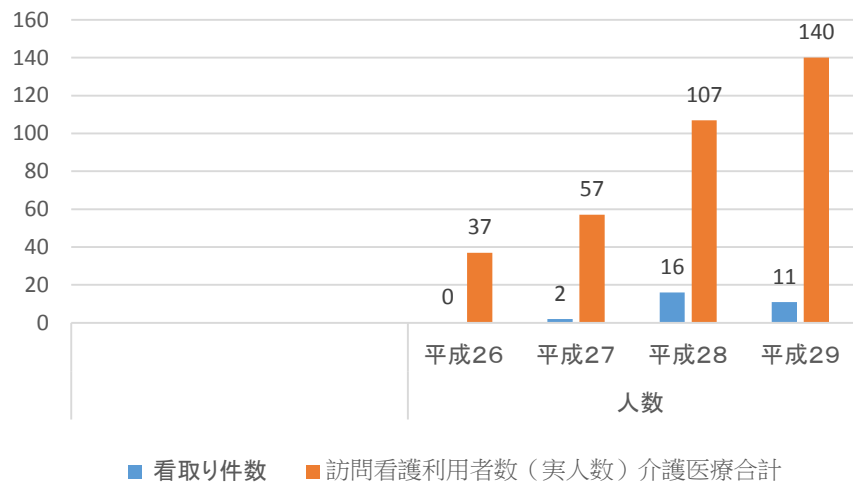
こじか 訪問看護ステーション

訪問看護利用状況



訪問看護ステーション さくら

利用実人数と看取り件数



こじか訪問看護ステーション

利用実人数と看取り件数



従事者状況



従事者状況



【評価】

- 医療・介護関係機関へのアンケート調査により、関係機関従事者の在宅医療や介護サービスへの連携など、知識や情報が十分でないことが明確となり、課題解決のための研修会の企画へ繋がった。
- 今年度、チームトレプラによる関係機関を対象とした研修会を2回、医師会による研修を1回実施した。それにより、医療、介護関係者への在宅医療、介護連携についての理解や、知識の向上に繋がったと思われる。
- 地域住民への広報について、地域住民への医療・介護相談会実施在宅医療、在宅介護サービスについて出前講座を実施してきた。これにより訪問看護や利用についての情報、相談窓口の周知など、微弱ではあるが、広がって来ている印象がある。

【今後の課題】

- 在宅医療を行う医師の負担軽減のための支援体制構築
- 地域住民への広報：幅広い世代への在宅医療についての情報提供
- 在宅医療・退院支援に向けての多職種連携の強化並びにIC利用も踏まえての連携体制の構築
- コーディネーターとして、地域医療機関、介護関係機関との連携を更に深める必要があると考える。
- 地域住民への相談窓口としての役割を充実させる。

【今年度のまとめ】

推進チームが本事業の達成目標に向け、それぞれの活動スケジュールに沿って意欲的に取組を進めて来ました。これにより地域医療機関、介護関係機関や、地域住民への在宅医療、介護連携についての情報が少しずつではあるが、周知されて来ていると感じています。

チームの皆さんは、各自の忙しい業務の中、具体的に計画を進める為、自主的にミーティングや打ち合わせを適宜実施し、事業推進に尽力して頂いております。

この事業推進には推進チームの皆さんの活躍が非常に大きいです。

*** 今後ともご協力よろしくお願いいたします**